



各地の話題はホームページのトピックスでチェック!!

高校生の研究で持続可能な未来を築く!

「STI for SDGsアワード」で「次世代賞」を受賞



▲市長室で研究内容を発表する科学部2年生

11月、天草高校科学部の研究が、科学技術振興機構が主催する「STI for SDGsアワード」で「次世代賞」を受賞しました。これは、シンガポールの世界大会で昨年発表した研究を引き継いだもので、珪藻と花粉の化石を使い、将来の海面上昇値を推計するというもの。この研究を小中学校や地域行事、全国で発表し、広める活動が評価されました。今後は、メディアやいろんな機会を活用してもっと発信していきたいと話していました。

アイヌの文化を肌で感じる

アイヌ文化交流in河浦地区文化祭



▲竹製の楽器を使ったムックリ演奏

11月24日、一町田地区コミュニティセンターで河浦地区文化祭が開催されました。今年度は友好都市の北海道浦河町からアイヌ文化保存会13人が来町。住民はアイヌ文化を体験・鑑賞しました。国重要無形民俗文化財のムックリ演奏や河浦小の児童と一緒にネズミ捕りの踊りを披露。ネズミ役の児童が食べ物を取ろうとする場面に会場は笑いに包まれました。

ようこそ天草へ!

スロベニア代表女子チームが事前キャンプ



1



2



3



4

1 本庁舎を訪れた選手団 2・3 天草市民センター体育館であったハンドボール教室
4 おそろいのTシャツを着て応援する市民応援団

11月30日から12月15日まで県内5会場で開催された2019女子ハンドボール世界選手権大会。本大会に出場したスロベニア代表チームが本市で事前キャンプを行いました。11月25日、市役所本庁舎で市民や職員らから歓迎を受けた選手団。ウロス・ブレガーヘッドコーチが、「天草の滞在を楽しみ、試合ではベストを尽くしたい」とあいさつしました。27日には、練習が公開され、ハンドボール教室で子どもたちと交流を深めました。

30日にアクアドームくまもとで行われたオランダとの初戦には約200人の市民応援団が声援を送り、見事勝利を収めました。

大盛況めでタイな~

第30回牛深あかね市

牛深ハイヤ大橋横の芝生広場一帯で牛深あかね市が開催されました。特産品や牛深のうまいものが並ぶ物産市、タイ釣り大会などを目当てに、11月30日・12月1日の2日間で約3万人が会場を訪れました。

100食限定の伊勢えびの味噌汁が即完売するなど大盛況。熊本市の20歳の女性は、「初めてのタイ釣りだったけど楽しかった」と笑顔で話していました。



▲初めての釣りに挑戦



地域おこし協力隊
ゆうじ
福田 祐司さん

東京から牛深町に移住して、早3カ月。地元の人たちの声かけや振興会長さんたちからさまざまなイベントに誘ってもらい、牛深の人の温かさを感じています。

今回、牛深あかね市ではアンケート調査を担当。前職で取得したデータ分析の資格を生かして改善点などを見つけ、次回につなげたいです。

自然や文化など魅力的な資源が豊富な牛深。地域を活性化させるきっかけづくりや大好きなアジ釣りにも挑戦したいです。



▲来場者でにぎわう広場

天草の冬を楽しもう

Amakusan SANTA Island



▲詳細

Amakusan SANTA Island ~みんなで楽しもう! 冬の天草。~が11月23日から開催中です。

市役所裏の河川プロムナード一帯で行われたオープニングイベントでは、かわいいキッズサンタが大集合パレードを実施。イルミネーションが点灯するとSUPに乗ったサンタとトナカイが登場し、家族連れを楽しませていました。

12月7日は、本渡中央銀天街でクリスマスイベントが行われ、お笑いコンビ「ガリットチュウ」と子どもたちが玉当てゲームや綱引きをして楽しいひとときを過ごしていました。

クリスマスは終わっても、イルミネーションは各地で年明けまで行われています。ぜひ、冬の天草をお楽しみください。

1 キッズサンタがパレード 2 サンタとトナカイがSUPに乗って登場 3 ガリットチュウと遊んだよ 4 牛深ハイヤ大橋が5色のレインボーカラーに



1



2



3



4



プロの技で立派な土俵が完成 力士たちが小学校で土俵づくり



▲「たたき」という道具で叩きながらツヤをだす

11月25日、木瀬部屋の力士12人が佐伊津小学校で土俵づくりを行いました。県出身の木瀬親方(元肥後の海)が熊本地震からの復興と相撲普及の一助になればと2年前からボランティアで行っているもの。

専用の道具を使って早朝から取り掛かり、昼休みには児童らと交流した力士たち。宇良関は、「いい土俵ができた。気持ちよく稽古してもらえれば」と話していました。

有明の宝を再発見! 第15回有明うまかもん収穫祭



▲みかんの詰め放題を楽しむ参加者

11月24日、有明の産業と地域振興を目的に有明うまかもん収穫祭が有明体育館で開催されました。訪れた約350人は、地元でとれたみかんや干しダコなどの展示販売、タコの絵画イラストコンテストの作品展示などを楽しみました。

参加者は、「みかんのピラミッドや大きな干しダコにびっくりした」と驚きながらも収穫祭を楽しんでいました。

4県を見渡せる大パノラマを堪能! 鳥峠パノラマウォーク



▲山頂から見る島々と青空は最高～

11月16日、鳥峠パノラマウォークが御所浦地区コミュニティセンターから鳥峠山頂までの6kmのコースで行われました。途中で出されるクイズで御所浦のことを学びつつ山頂を目指した参加者は213人。山頂からは熊本・長崎・鹿児島・宮崎の4県が一望でき、参加者は大パノラマを堪能していました。

ゴール後は、カレーライスが振る舞われ、抽選会などを楽しんでいました。

鬼と一緒に楽しんだ 鬼の城公園まつり2019



▲水鉄砲で戦うウォーターサバゲー

11月17日、鬼の城公園まつりが五和町の鬼の城公園で開催されました。同まつり実行委員会が旧五和町の「鬼んびっく」を復活させたもので今年で8回目。“五和戦士オンジョー”ショーや大抽選会などもあり多くの家族連れでにぎわいました。

新企画のウォーターサバゲーに参加した子どもたちは、「仲間と力を合わせて戦えて楽しかった」と笑顔で話していました。

花も楊貴妃のように美しく 第23回しんわ楊貴妃祭り新企画



▲ハーバリウム作りを体験する子ども

11月24日、市役所新和支所一帯で開催されたしんわ楊貴妃祭り。約2千人が訪れ、新和の食やステージイベントを楽しみました。

ハマボウを長く楽しんでからおうとハーバリウムの製作を初めて実施。オイルを入れた瓶に乾燥させた花を浸すことで長い間鑑賞できます。

参加した児童は、「かわいいハーバリウムができた」と笑顔で話していました。

芸術の秋を満喫 倉岳町ふるさとまつり・倉岳地区文化祭



▲太鼓を披露するえびす太鼓保存会

11月24日、倉岳町ふるさとまつり・倉岳地区文化祭が倉岳体育館で開催されました。まちづくり協議会と同地区文化協会が昨年より共同で開催しているもので、住民など約500人が来場。

小・中学生の絵や書道の展示のほかステージでは地元グループが舞踊などを披露。来場者は、「中学生の絵が上手だった」と芸術の秋を楽しんでいました。

自慢の農産物を競う 第42回福連木地区産業文化祭



▲セリ(競売)に参加する人たち

地域産業の活性化を目的に福連木里づくり振興会が主催する「産業文化祭」が11月23日・24日の2日間、福連木地区コミュニティセンターで開催されました。

1日目には、地元生産者が自慢の野菜や果物、農産加工品など156品を出品し、品評会が行われました。2日目は、出品物のセリが行われ、参加者が次々にセリ落とし、全て完売していました。

ふるさとの味を忘れないでね 高校3年生を郷土料理で送る会



▲包丁の使い方を教わる高校生

11月23日、栖本福祉会館で地元の高校生10人が老人会会員や食生活改善推進委員と一緒に郷土料理を作りました。

地元を離れてもふるさとの味を忘れないでほしいと社会福祉協議会栖本支所が毎年開催しているもの。

がねあげや押し包丁など6品を作った高校生は、「がねあげがおいしかった」と笑顔を見せていました。